

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成30年6月28日
村山 章

「赤信号で止まらなければならないのはなぜか」という質問をアメリカ人にしたところ、70%は「警察に見つかるにつかまるから」と答え、25%が「私が怪我をするから」と答えたそうです。そして残りの5%だけが「私も怪我をするだろうけれど、他の人にも被害を及ぼすかもしれないから」と答えたと、あるコラムに書いてありました。面白い質問ですね。私たちは、とにかく自分を中心に考えて行動しがちです。こう言ったら相手はどう思うかを考えずに発言して傷つけたり、それを考えずに行動して周りに迷惑を掛けたりします。

数年前、正解のない難問に取り組む、マイケル・サンデルさんの「これからの『正義』の話をしてしよう」という本が世界的ベストセラーになりました。机上の論理も重要ですが、私たちはリアルな日常生活のなかで、正しいことをきちっとやっていかないと必ずしっぺ返しに遭います。正しいことをしていれば必ずとよい結果になります。したがって、常に正しいこととは何かを考えて行動したいものです。自分がされて嫌だと思うことを人にしてはいけません。そう子供の頃に教わった覚えがあります。しかし、知らず知らずのうちに自分がされて嫌だと思うことを人に向けてやっているかもしれません。人の悪口を言うてはいけないと言いますが、振り返ると結構言っていますね。トイレ掃除など人が嫌がる作業は自ら率先してやりなさい、とも言います。しかし、ほとんどそうした作業をやる人はいなくなりましたね。こんな初歩的なことすら、ないがしろになっているのが現代の実情です。

日本も経済的に豊かになりました。それはそれで幸せなことですが、その反面、成人病が増え二人に一人が癌になる時代でもあります。難しいことですが、自分を律して一日一日を大切に精進して生きる。そして人様の役に立ち、人様に喜んでもらえることを最高の幸せと理解して生きる姿勢が、結果的に自分自身の幸福につながるのだと思います。